

2017年度 奨学生申請書①～③記入上の注意

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

☆全般的事項について

- (1) 原則として日本語（楷書）で記入すること。
- (2) アルファベット使用の場合は、活字体で記入すること。
- (3) 数字は算用数字を用いること。
- (4) 該当する欄はすべて記入すること。
- (5) 記入は万年筆またはボールペンで書くこと。
- (6) 推薦書（2枚目枠内）以外は、応募者本人が手書きで記入すること。
- (7) 名前、フリガナは、全ページ統一して記入すること。
2017年4月以降の在籍（予定）学校が発行する証明書記載通りに記入すること。

☆在籍校について

- (1) 2017年4月1日時点の在籍（予定）校及び学年数を記入すること。
2017年4月1日時点の在籍（予定）校以外の記載がある場合は、審査の対象としない。
- (2) 「名称」欄は、専門学校生及び短期大学生は学校名と学科を記入する。大学生及び大学院生は大学名を記入し、大学生の場合は学部名・学科名を、大学院生の場合は研究科名・専攻を記入する。
日本語学校は、学校名とコース名などの所属先を記入する。
2017年4月以降の在籍（予定）学校が発行する証明書記載通りに記入すること。
- (3) 在籍残期間は、最短（標準）修業年限で卒業・修了までの残りの期間を記入すること。

☆家族状況について

- (1) 「家族姓名」欄には、父母のほか、配偶者・子供・兄弟姉妹についても記入すること。
- (2) 「勤務先または学校名」欄は、具体的に記入する。できれば役職等も記入すること。
父母死亡の場合は「死亡」と記入すること。在学中の者は学校名を記入すること。

☆日本滞在歴等について

- (1) 本国等からの仕送り及び他の奨学金受給歴は、月額で記入する。
- (2) 日本語能力試験合格者は該当する級（N1～N5）に○をつける。
※旧試験（2009年以前）合格者は下記に該当
1級→N1 2級→N2 3級→N4 4級→N5
- (3) 日本語学習歴は初めて日本語を勉強した時から現在までの年数を記入する。

☆学歴について

- (1) 学歴については在籍・卒業した学校名を記入すること。

☆推薦書について

- (1) 推薦書は2017年4月以降在籍（予定）校の校長、学部長、指導教官／職員が記入する。
- (2) 日本語で記入の上署名捺印が必要。
外国語の場合は日本語訳に捺印したものを添付する。

☆日本留学の目的・将来希望する進路について

- (1) それぞれ200字以内で、応募者本人が記入すること。